

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇給、福利厚生など雇用条件で差別の無い体制を構築し、経営者トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。各持ち場責任者によるチェック体制、相談体制を整備している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法の改正について、役員、管理職で共有しており、タブレット端末での時間把握や、個別に是正措置を講じている。【今年度予定】多様な働き方を含め、勤怠管理をシステムを導入する。								8.5 8.8									
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者を雇用しているが雇用条件における差別や職場内における差別的なことは無い。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生管理者、安全推進者、安全運転管理者を選任し、安全衛生方針の元、パトロール、リスクアセスメントの取り組んでいる。毎朝朝礼と週一会議で情報の共有と意識向上。防護具や適切な道具の使用。作業、運転マニュアル。							3		8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・希望者へのストレスチェック。アンガーマネジメントなど社会で問題になっている事への啓発、指導。福利厚生を含め、働きやすい環境、設備の改善を常時取り組んでいる。								3									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材、働き方を容認する社内体制は出来ているが、更に体制を向上させていく。【予定】女性を主とした新工場の設立。シングルマザーや子育てしながら働ける軽作業の工場新設。障がい者や高齢者雇用は長年の取り組んでおり、話をしながら環境を整えている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・必要な免許や資格の全面資金支援。外部講習や研修、視察の機会の情報発信や機会を設けている。					4	5.5		8	9								
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・男女間格差の是正など原則に沿って改善している。						5.5		8.5	10.2 10.3								
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・毎年の健康診断の実施。作業前の安全衛生打ち合わせをしている。							3		8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物収集運搬処理を業としており、適正適切な処理は勿論、リサイクル（資源循環）率の向上を常に模索し、環境保全に努めている。										11.6	12.4		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・使用している、電気、水道、燃料を把握し、生産量から使用量でCO2排出量を計算し（一部工場）、常に節電、節水を心掛けている。								7.3			13						
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・エアコン温度設定やクールビズ、こまめな消灯など一般的な事は習慣化されている。川の水の散水や太陽光パネルの設置。								7.2 7.3			12.4	13.3					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質については、法令に基づいて取り扱いをしている。廃棄物で性質不明な物は安全データシートや外部の分析など適正処理するために必要な手順を踏んでいる。							3.9		6.3		11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・廃棄物を扱う弊社では、行政チェックを受け、飛散や漏洩、落下などしないようにマニュアルの元、教育をし取り組んでいる。グリストラブの定期的な清掃や会社外の環境美化活動などに取り組んでいる。								6.6						15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・最終的に資源になるよう中間処理をしているなか、まず3Rを基本とし、その次に熱回収をしている。顧客や排出者にも説明し循環型社会への協力を仰いでいる。											12.5	14.1					
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水道の代用で川の水を散水に利用したり、緑地帯にも使用している。常に上下水道の節水を心掛け、その表記をしている。								6.4 6.6									

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21の取得を目指し、講習などを受け、社内の調整を行っている。			3.9			6	7						12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・顧客へはリサイクルフローや廃棄物の処理フローを開示し、環境方針をHPで開示している。【予定】扱っている廃棄物の処理方法や処理量の開示。													12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・浅間工場の屋根に48kの太陽光発電設備を設置している。							7.2								13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・食品リサイクル提案など顧客へ情報発信すると共に、マテリアル再生を軸にサーマルリサイクルを含め、資源を有効活用する取り組みが会社方針にもなっている。													12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則にもあるが、不正な行いは解雇となる。社会通念上を逸脱する行為は社内教育、広報物で周知している。																		16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・すべての不正な行為は、健全な社会活動ではないと認識し、社内教育、広報物で周知している。																			16
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特に自社の知的財産は無いが、必要な場合は商標登録をする。									8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・取引先との機密保持契約、マイナンバー規約、就業規則、マニュアルを元に管理している。パソコンなどは外部にセキュリティーを依頼。事務室等はセコム警備。																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・廃棄物の排出事業者からの申告が無い限り把握は出来ない。																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・契約書記載以外にも、排出元や最終処分先の確認を定期的に行うなか、取り組みや状況を相互に確認している。					5				8		10			12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・受け入れる廃棄物で疑義がある場合はSDSの提出、または分析などをお願いしている。有害物や許可の無い物は取り扱わないが、万が一紛れ込んだ場合は適切な処理先とも契約をしている。			3.9											12.4					
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・廃棄物でも製鋼原料でも製紙原料でも受け入れ先基準に沿って、品質の高い物に加工し評価して頂いている。各責任者が検収検品し社内の体制が出来ているが、クレーム等が来た場合は検証し改善する仕組みになっている。													9						
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・廃棄物処理を適正適切処理をしている為、環境保全、リサイクル率など向上を常に目指している。廃棄物の中間処理、運搬にあたっては5年に1回行政の立入検査もある。							6							12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRは勿論、経営戦略として社会問題、環境問題に取り組み、また顧客へ情報を発信している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																										
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・一般産廃廃棄物運搬処理業務がインフラと認識されている事を深く理解するとともに、迷惑施設と言われないよう法令以上の取組をしている。近隣の通行制限速度や清掃、作業時間、清潔感など意識を高くと教育している。				4							9		11	12						14	15				17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・工場見学受入、職場体験、環境美化活動、地域イベントなどへの寄付を行っている。協会主導の不法投棄の撤去や災害時にはボランティア活動へ参加も。				4										11								14	15				17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元地域を商圏とし、相互のお付き合い、信頼を理念としている。廃棄物の最終処分に関しては県外に頼るしかなく、地域的に課題は多く残る。												8	9		11	12	13										
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念朝礼唱和、企業理念、安全衛生方針など共有できるよう掲示や確認をしている。											8	9															17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守はもはや当然の取組としてとらえている。会議、講習、個別指導で勉強場を設けるとともに、チェック&フォローで管理職が指導している。																											16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	企業は社会の一員であることを認識し、リサイクル業を行っている為、知識の元、環境保全を組織で考えている。																											16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	誠実な対話を企業理念とし、情報発信や共有をしている。																										16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	安全衛生方針を掲げているが、様々な危機管理の向上を常に模索しながら体制の向上を目指さなければならない。																											16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	法令順守の元、社会経済活動と環境保全の両立の為、常にチャレンジ思考で取り組んでいる。																											16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続の為、様々な事を想定しているが、社会や商習慣の変化にビジョンのみ立案しているが課題も多い。														9		11		13	13.1							16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	検討はしているが、まだ模索している最中である。												8	9														17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）